

原油・原材料等の価格上昇・税制（増税）・為替（円高）など 2012年景気への懸念材料は「負担の増加」

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の177社。2位が「原材料価格の上昇」の67社。「取引条件の悪化」が52社で3位。
- ★ 「2012年景気への懸念材料」について、最も回答が多かったのが「原油・原材料等の価格上昇」の100社（44.2%）。その他、上位は「所得（減少）」30社（13.3%）、「税制（増税）」29社（12.8%）、「為替（円高）」「物価下落（デフレ）」が18社（8%）と続く。
- ★ 「現在の雇用人員」について、76.7%（178社）が「適正」と回答。「不足」が16.4%（38社）で、「過剰」が6.9%（16社）と、前回に比べ「過剰」が減り「不足」が増えた。

平成24年1～3月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成24年4月に実施した第88回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。
本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が88回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は238社（小売業70社、卸売業32社、製造業36社、建設業57社、運輸・交通業15社、観光・サービス業28社）で回収率は47.6%。

【概況】

今期（1～3月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲29.2と、3ヶ月前の前回調査▲23.9から5.3ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の1.7%、「やや好転」が16.1%で、逆に「やや悪化」が36.0%、「かなり悪化」が11.0%だった。同様に、売上DIも9.3ポイント悪化して▲27.4。採算DIについても4.2ポイント悪化して▲36.9。原材料（商品）仕入価格は25.0から30.0と上昇傾向。

今回事業所に対し、2012年景気への懸念材料は何かと尋ねたところ、「原油・原材料等の価格上昇」が100社（44.2%）で最多となった。2番目が「所得（減少）」の30社（13.3%）で、以下、「税制（増税）」29社（12.8%）、「為替（円高）」「物価下落」18社（8.0%）と続く。昨年同時期に同じ質問をしているが、当時と比較して「原油・原材料等の価格上昇」（100社）と「所得（減少）」（34社）はほとんど変わらないが、昨年は、2番目に「その他」として東日本大震災関係の記載があり（37社）、4番目には「政局」（18社）が来るなど、未曾有の大震災を受けての国の対応や経済活動の停滞など先行き不安感が多かった。しかし、今回は上記のように、「税制（増税）」や「為替（円高）」が上位に来るなど、税金やコストなどの「負担増」に対する不安感が多い。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

業況DI	(好転割合) - (悪化割合)
売上DI	(増加割合) - (減少割合)
採算DI	(好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲29.2。業種別では、小売業、観光サービス業を除く4業種で悪化。先行き見通しは▲35.9と今期以上に悪くなるのではという見方が多い。

売上は、全業種合計で今期▲27.4。業種別では、業況同様、小売業、観光サービス業を除く4業種で悪化。売上が減少したと回答した事業所107社のうち、最も多かったのが「景気の低迷（後退）」で28社。2番目が「季節的な減少」で24社。「取引先の悪化・減少」21社、「価格競争の激化」14社と続く。

原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期30.0。今年に入り原油価格も\$100/バレルを超えてきており、重油、ガソリン、軽油などあらゆるものの価格が上昇してきている。

採算は、全業種合計で今期▲36.9。業種別では、業況・売上同様、小売業、観光サービス業を除く4業種で悪化。特に、卸売業、製造業、運輸・交通業では▲20以上の大幅悪化。理由としては、「売上の減少」と「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」の二項目で9割以上。

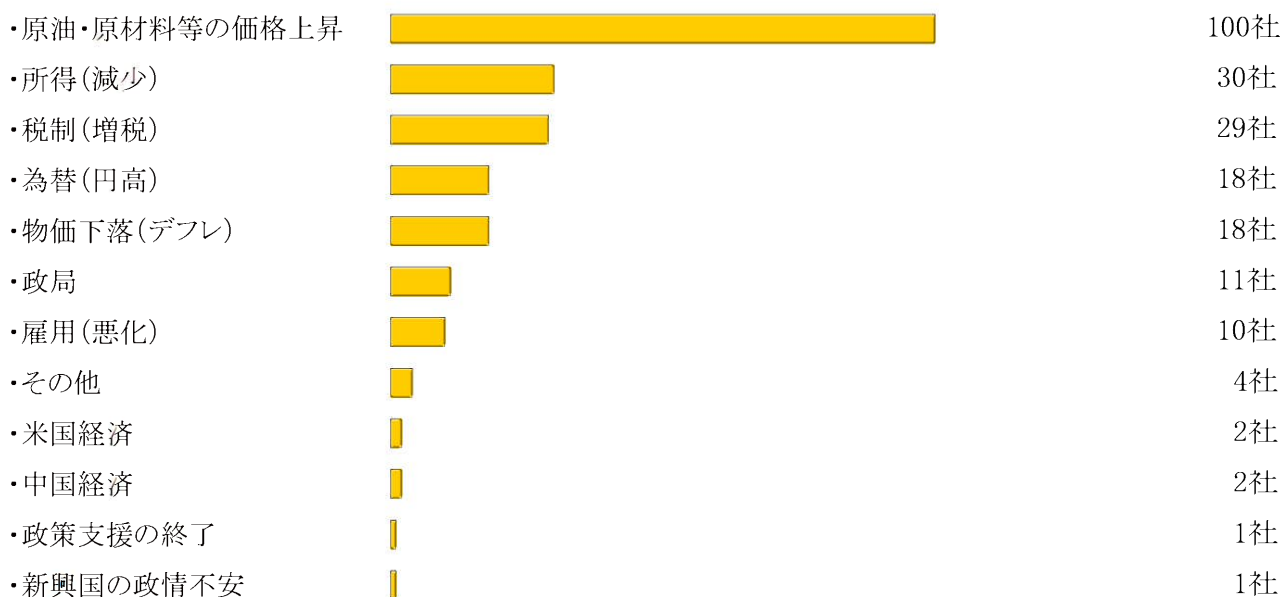
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【現在の雇用人員をどのようにお考えですか？】



【2012年景気への懸念材料は？】



【経営面からみて、希望者全員を65歳再雇用義務化についてどのようにお考えですか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 29.2	▲ 35.9
小売業	▲ 30.0	▲ 35.7
卸売業	▲ 25.0	▲ 9.4
製造業	▲ 33.3	▲ 31.4
建設業	▲ 26.3	▲ 51.8
運輸・交通	▲ 40.0	▲ 60.0
サービス業	▲ 26.9	▲ 26.9

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 27.4	▲ 34.6
小売業	▲ 19.1	▲ 37.3
卸売業	▲ 25.0	▲ 15.6
製造業	▲ 33.3	▲ 28.6
建設業	▲ 32.1	▲ 49.1
運輸・交通	▲ 40.0	▲ 40.0
サービス業	▲ 25.9	▲ 25.9

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

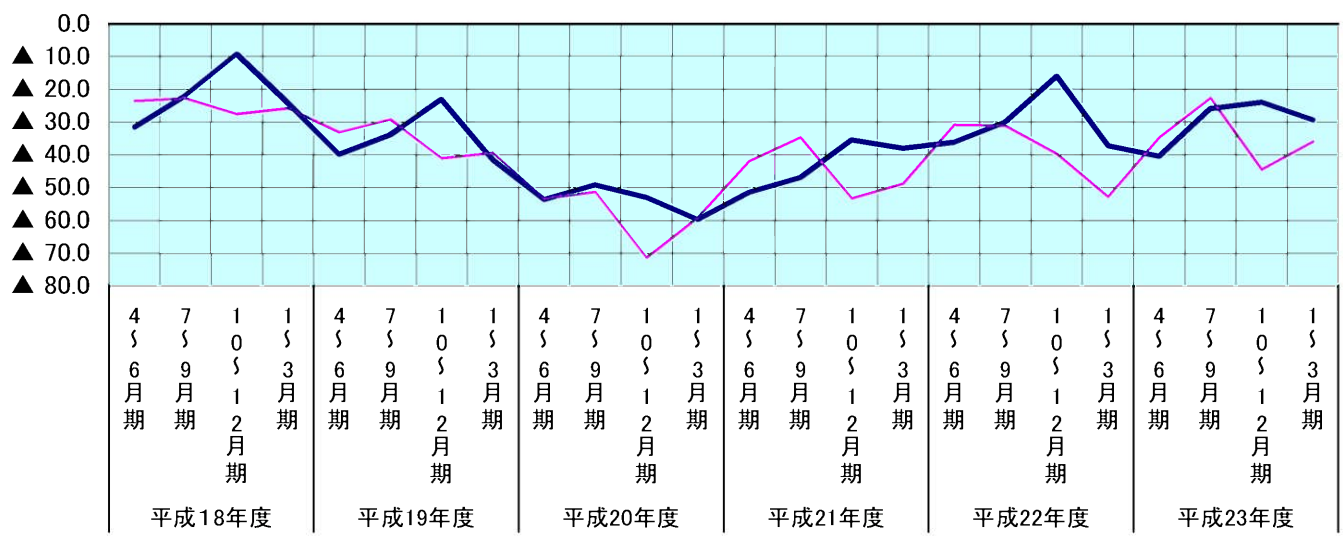
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 36.9	▲ 41.8
小売業	▲ 29.0	▲ 41.2
卸売業	▲ 37.5	▲ 21.9
製造業	▲ 38.9	▲ 37.1
建設業	▲ 40.4	▲ 66.1
運輸・交通	▲ 53.3	▲ 40.0
サービス業	▲ 37.0	▲ 23.1

(好転割合－悪化割合)

全業種

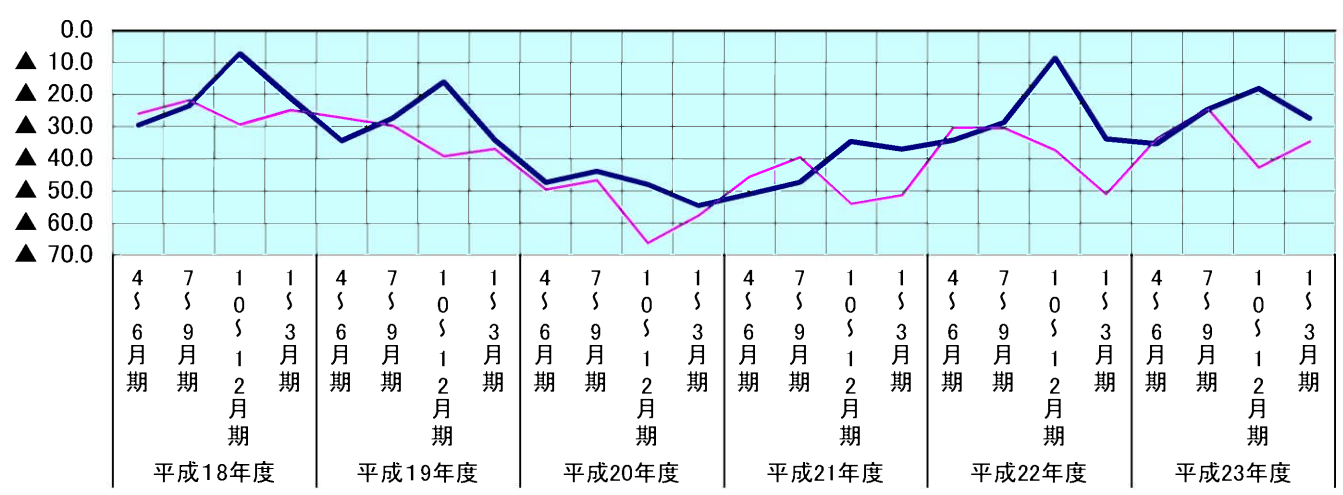
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



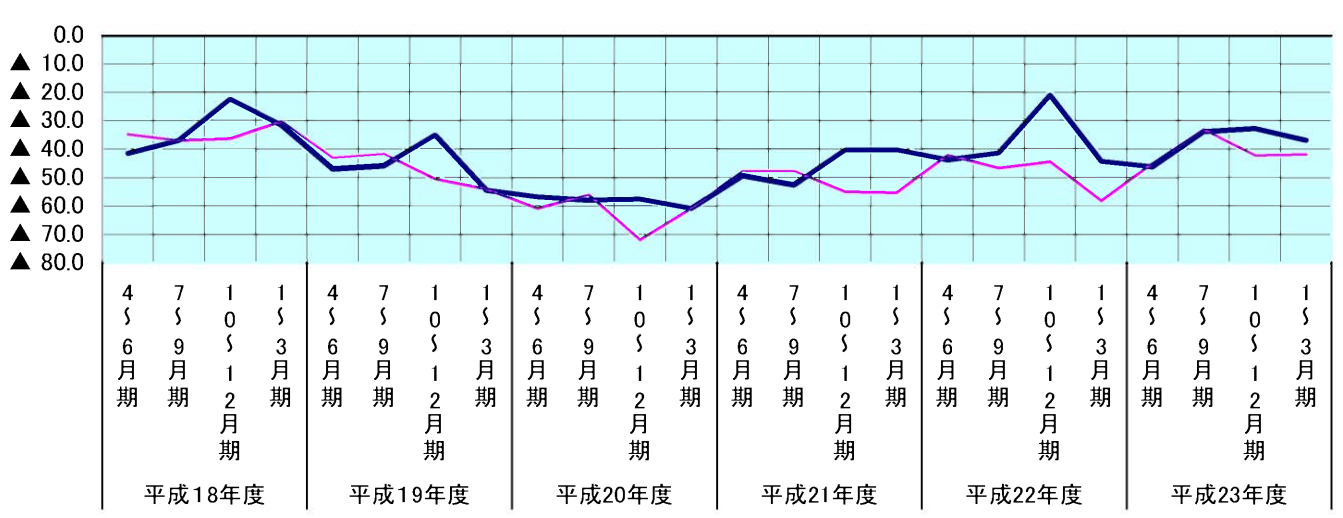
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し




















採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
卸 売 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
建 設 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い